

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	適切な振動工具の点検・整備、測定に関する検討		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始・平成23年度終了		担当課室	労働衛生課		椎葉 茂樹		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画、昭和50年10月20日付け基発第610号(改正:平成21年7月10日付け基発0710第1号)、平成21年7月10日付け基発0710第2号				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働省では、平成21年7月に「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」及び振動ばく露時間で規定される1日8時間の等価振動加速度実効値(日振動ばく露量A(8))の考え方などに基づく新たな振動障害予防対策を発出したが、労働者の振動障害予防対策の推進、定着が必要である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	振動工具の点検・整備について、海外の状況、わが国の使用状況、使用によって「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」が変化するなど個々の振動工具ごとの特性等を調査し、わが国における適切な振動工具の点検・整備のあり方、実施時期及び方法等について検討を行い、また、当該工具の容易かつ適切な振動測定方法について調査及び検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算		8	8			
		繰越し等						
		計		8	8			
	執行額		4	5				
	執行率(%)			50	62.5			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	調査研究について報告を取りまとめる。		成果実績		-	-	-	
			達成度	%	-	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	検討会については3回以上実施する。		活動実績 (当初見込み)		-	3	3	-
						(3)	(3)	()
単位当たりコスト	5,066千円		算出根拠	調査研究を行う事業であり、事業実施結果一式が成果物となるため、委託費の額が単位当たりコストとなる。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金			平成23年度限り				
	職員旅費							
	委員等旅費							
	庁費							
	事業費							
	管理費							
	消費税							
計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	業務上疾病の予防は国民のニーズに資するものであり、3軸合成値の把握及びその容易かつ適切な計測は、振動障害予防指針の推進上必要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	振動障害予防対策の推進という国の施策のために必要な調査・検討であることから、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	調査・検討を実施するに当たって効率化を図り、経費の縮減に努めたものである。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	総合評価落札方式による調達としている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	調査・検討を実施するに当たって効率化を図り、経費の縮減に努めたものである。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	振動工具取扱労働者の振動障害予防対策を推進するための調査であり、事業者から徴収した労災保険料から支出することは妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	効率化を図り、調査に必要な経費のみの使途である。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	効率的な調査を実施し、実効性は高い。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	報告書が作成され、達成した。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	報告内容を鑑みるに問題はない。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	今後策定予定の3軸合成値の簡易計測の指針により活用する予定である。
点検結果	振動障害予防対策の推進に資するために実施された調査・研究であり、その実施に当たっては効率化により経費の縮減に努め、報告書の作成という所定の目標を達成したものである。		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0947

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
(5百万円(平成23年度精算額))

〔事業管理、受託者への指導〕



【一般競争入札(総合評価落札方)】

産業安全技術協会
(5百万円(平成23年度精算額))

〔適切な振動工具の点検・整備、測定に関する調査研究について調査を実施し、検討会を3回開催した上で、報告書を作成する。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.産業安全技術協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	検討会謝金	2.3			
庁費	消耗品、会場借料、実態計測等	1.5			
管理費	人件費、振込手数料	0.6			
委員等旅費	委員会出席旅費、実態計測旅費	0.4			
消費税	消費税	0.2			
計		5.0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	産業安全技術協会	適切な振動工具の点検・整備のあり方、実施時期及び方法等について調査・検討を実施	5.1	1	95
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					